

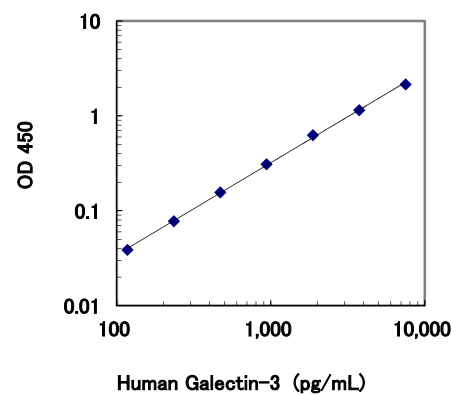
- 洗浄液は、プレートをペーパータオルの上でたたいて完全に除去してください。ペーパータオルをウェルの中に入れる事はしないでください。
- TMB 基質液は、光に対して敏感です。遮光保存してください。金属との接触も避けてください。
- 吸光度測定は、停止液添加後 30 分間以内におこなってください。

8. 測定結果の算出方法

対数グラフの縦軸に吸光度を、横軸に検体濃度と各標準物質濃度の吸光度値から検体ブランクの吸光度値を引いた値をとり検量線を設定します。
試料検体の吸光度値から検体ブランクの吸光度値を引いた値を検量線に当てはめ、検体濃度を読みとります。

9. 測定値と検量線作成例

標準品濃度 (pg/mL)	吸光度 (450nm)
7,500	2.173
3,750	1.173
1,875	0.650
937.5	0.333
468.75	0.179
234.38	0.100
117.19	0.061
0 (検体ブランク)	0.023



* 上記検量線は作成例です。測定に当たってはその都度検量線を作成してください。

10. キットの性能

- 希釈試験 (標準物質を添加したサンプルを使用しています)

検体	希釈倍率 (x)	測定値 (pg/mL)	理論値 (pg/mL)	%
培地 (10%FCS 添加 RPMI-1640)	2	3,750.77	3,750.00	100.0
	4	1,881.83	1,875.00	100.4
	8	922.58	937.50	98.4
TNE 緩衝液	2	3,680.67	3,750.00	98.2
	4	1,730.96	1,875.00	92.3
	8	826.46	937.50	88.2
血清 (健常人)	2	6,260.26	6,061.15	103.3
	4	3,655.58	3,369.88	108.5
	8	2,038.87	1,868.52	109.1
	16	1,038.90	985.50	105.4
血漿(EDTA) (健常人)	4	5,692.99	5,685.24	100.1
	8	3,015.99	2,978.58	101.3
	16	1,785.43	1,627.85	109.7

- 添加回収試験

検体	理論値 (pg/mL)	測定値 (pg/mL)	%
培地 (10%FCS 添加 RPMI-1640) (x2)	1,875.00	1,731.74	92.4
	937.50	867.50	92.5
	468.75	442.79	94.5
TNE 緩衝液(x2)	937.50	802.47	85.6
	468.75	424.22	90.5
	234.38	214.01	91.3
血清 (健常人) (x4)	2,937.96	3,215.32	109.4
	2,469.21	2,542.35	103.0
	2,234.84	2,204.54	98.6
血漿(EDTA) (健常人) (x4)	5,344.22	5,056.08	94.6
	4,875.47	4,601.78	94.4
	4,641.10	4,322.57	93.1

- 同時再現性

測定値 (pg/mL)	SD 値	CV 値 (%)	n
5,363.51	216.66	4.0	24
1,229.51	49.54	4.0	24
267.41	14.83	5.5	24

- 測定間再現性

測定値 (pg/mL)	SD 値	CV 値 (%)	n
5483.04	173.27	3.2	5
1277.33	108.03	8.5	5
286.72	25.74	9	5

- 特異性

測定物質	交差率
Human Galectin-3	100.0%
Human Galectin-1	≤0.1%
Human Galectin-4	0.21%
Mouse Galectin-3	≤0.1%

- 感度

43.95 pg/mL
本キットの感度は、NCCLS (National Committee for Clinical Laboratory Standards) の評価方法に従い求めました。(National Committee for Clinical Laboratory Standards Evaluation Protocols, SC1, (1989) Villanova, PA : NCCLS 参照)

11. 使用上または取り扱い上の注意

- 保存は、2~8℃としてください。使用前に全ての試薬は室温に戻してください。
- 標準物質は、凍結乾燥品です。開封は、十分注意しゆっくりとおこなってください。
- 停止液は強酸性 (1N 硫酸) です。衣服 皮膚等への接触および廃棄には十分注意してください。
- 使用後の抗体プレートや試薬は、多量の水で洗い流してから廃棄してください。
- 標識抗体濃縮液は、まれに析出を認める場合がありますが、性能に問題はありません。
- 構成試薬には動物血液成分を含む物があります。取り扱いに注意し使用後は手洗いなどをおこなってください。
- ロットが異なる製品の構成試薬や他のキットの構成試薬を混ぜたり、交換して使用することは避けてください。
- 有効期限切れの試薬は、使用しないでください。
- 本キットは、研究用試薬です。診断等に用いることはできません。

12. 保存方法および有効期限

2~8℃保存
使用期限は外箱に記載

13. 包装単位および製品番号

96 Well
製品番号 27755

14. 参考文献

- Ochieng J, Platt D, Tait L, Hogan V, Raz T, Carmi P, Raz A. Structure-function relationship of a recombinant human galactoside-binding protein. *Biochemistry*. 1993 Apr 27;32(16):4455-60.
- Liu FT, Patterson RJ, Wang JL. Intracellular functions of galectins. *Biochim Biophys Acta*. 2002 Sep 19;1572(2-3):263-73.
- Yang RY, Liu FT. Galectins in cell growth and apoptosis. *Cell Mol Life Sci*. 2003 Feb;60(2):267-76.
- van den Brùle F, Califice S, Castronovo V. Expression of galectins in cancer: a critical review. *Glycoconj J*. 2004;19(7-9):537-42.
- Takenaka Y, Fukumori T, Raz A. Galectin-3 and metastasis. *Glycoconj J*. 2004;19(7-9):543-9.
- Inohara H, Segawa T, Miyauchi A, Yoshii T, Nakahara S, Raz A, Maeda M, Miyoshi E, Kinoshita N, Yoshida H, Furukawa M, Takenaka Y, Takamura Y, Ito Y, Taniguchi N. Cytoplasmic and serum galectin-3 in diagnosis of thyroid malignancies. *Biochem Biophys Res Commun*. 2008 Nov 21;376(3):605-10.

15. 関連製品

製品番号	製品名	容量
19022	IBLysis- I (可溶化緩衝液)	50×0.5 mL
		50 mL

16. 問合せ先

株式会社 免疫生物研究所
〒375-0005 群馬県藤岡市中 1091-1
電話 : 0274-22-2889
FAX : 0274-23-6055

Version 3.

2017年1月更新*